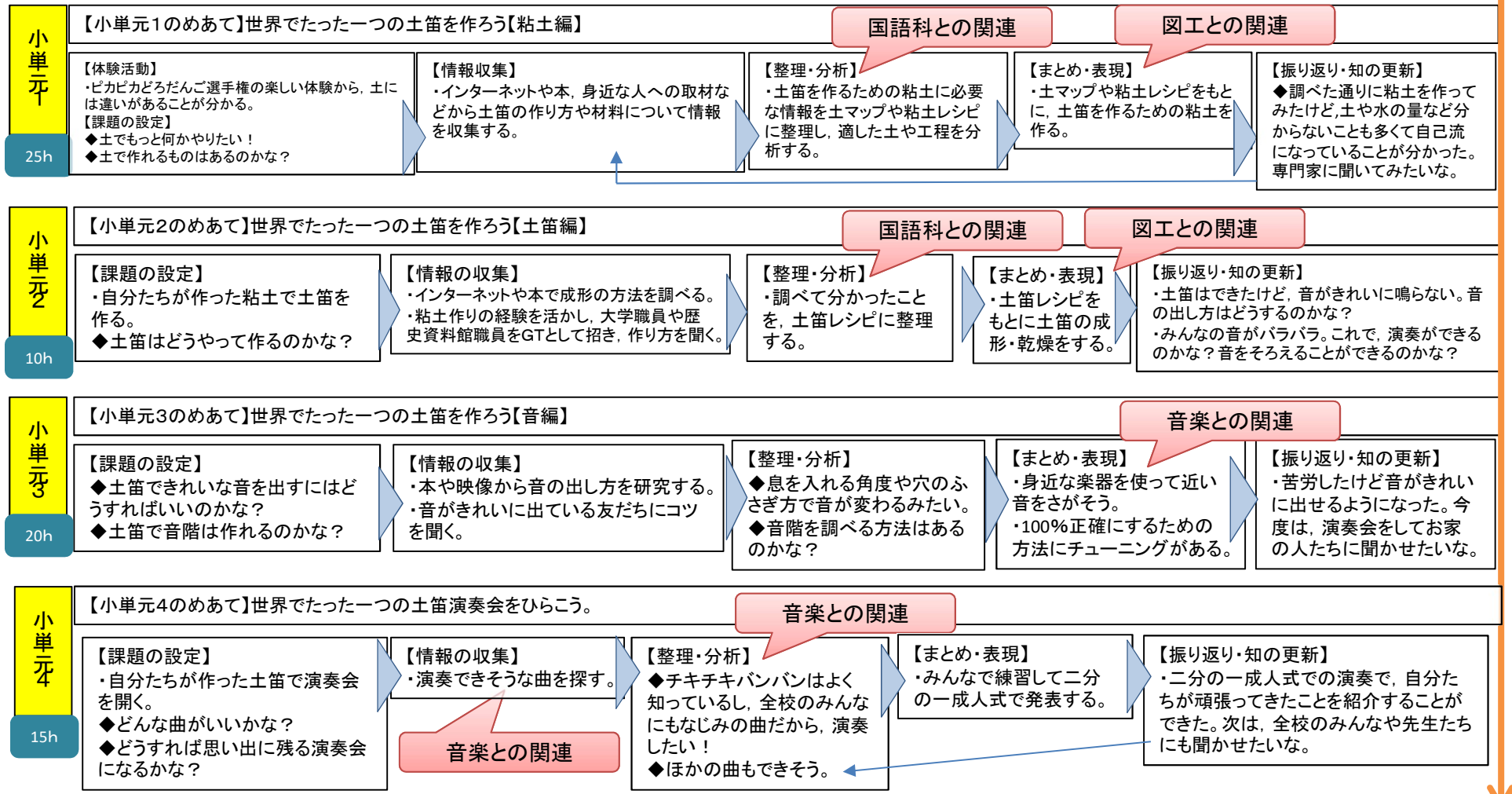


小学校総合的な学習の時間の単元計画【第4学年3組】

探究課題： ものづくりの面白さや工夫，自然の不思議さともものづくりに携わる人々の技術や思い

単元のねらい： 探究的な見方・考え方を働かせ，土笛を作ったり，演奏したりする活動を通して，ものづくりの面白さや難しさを体感し，友だちや地域の方などと関わり合いながら互いの良さを生かすことができるようにする。

単元のめあて： 世界でたった一つの土笛プロジェクト ～運動場の土から世界でたった一つの土笛を作ろう～



【単元の振り返り】(期待する姿)

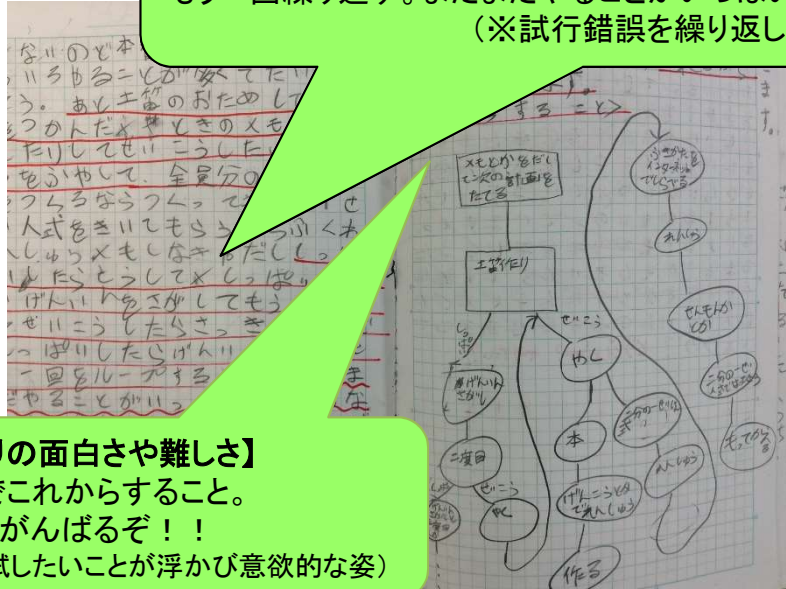
・分からないことはとことん調べたりいろんな人に聞いたりして解決してきた。何回も失敗して苦労したけど，そのたびにみんなで原因をさぐって改善し，協力してうまくできた時や，演奏会でたくさんの人たちに聞いてもらったときにはとてもうれしかった。自分たちでできたという達成感があった。助けてくれた人たちに感謝の気持ちを伝えたい。 など

単元のねらいにせまる具体的な子どもの姿(児童の振り返りより)

単元のねらい: 探究的な見方・考え方を働かせ、土笛を作ったり、演奏したりする活動を通して、ものづくりの面白さや難しさを体感し、友だちや地域の方などと関わ合いながら互いの良さを生かすことができるようにする。

【ものづくりの面白さや難しさ】

失敗したら検討して失敗した原因をさぐりもう一回作る。それでも失敗したら、もう一回繰り返す。まだまだやることがいっぱいありそうな予感
(※試行錯誤を繰り返す、ものづくりの本質に迫る姿)



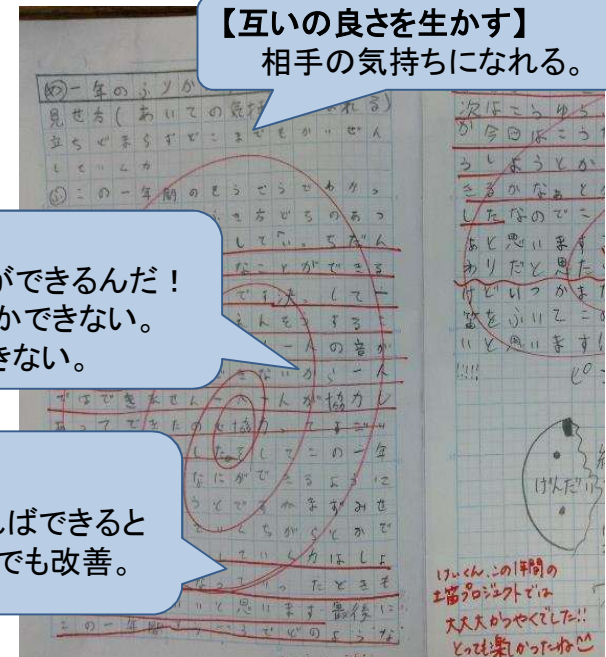
【ものづくりの面白さや難しさ】

土笛作りでこれからすること。
これからもがんばるぞ!!
(※次々に試したいことが浮かび意欲的な姿)



【互いの良さを生かす】

相手の気持ちになれる。



【互いの良さを生かす】

みんなで協力するとこんなことができるんだ!
一人ひとりの音が重なってしかできない。
これは自分一人ではできない。



【ものづくりの面白さや難しさ】

失敗は原因を探って、改善すればできると分かった。立ち止まらずどこまでも改善。

本単元と関連して育成を目指す各教科等の資質・能力

単元名： 世界でたった一つの土笛プロジェクト(小学校第4学年:70時間)

時期	5月～7月	9月～10月	11月～12月	1月～3月
探究の過程	世界でたった一つの土笛をつくろう 【粘土編】 (25時間)	世界でたった一つの土笛をつくろう 【土笛編】 (10時間)	世界でたった一つの土笛をつくろう 【音編】 (20時間)	世界でたった一つの土笛演奏会をひらこう (15時間)
課題設定	【体験活動】 ・ピカピカどろだんご選手権の楽しい体験から、土には違いがあることが分かる。 【課題の設定】 ◆土でもっと何かやりたい！ ◆土で作れるものはあるのかな？	【課題の設定】 ・自分たちが作った粘土で土笛を作る。 ◆土笛はどうやって作るのかな？	【課題の設定】 ◆土笛できれいな音を出すにはどうすればいいのかな？ ◆土笛で音階は作れるのかな？	【課題の設定】 ・自分たちが作った土笛で演奏会を開く。 ◆どんな曲がいいかな？ ◆どうすれば思い出に残る演奏会になるかな？
情報収集	・インターネットや本、身近な人への取材などから土笛の作り方や材料について情報を収集する。	・インターネットや本で成形の方法を調べる。 ・粘土作りの経験を活かし、大学職員や歴史資料館職員をGTとして招き、作り方を聞く。	・本や映像から音の出し方を研究する。 ・音がきれいで出ている友だちにコツを聞く。	・演奏できそうな曲を探す。
整理分析	・土笛を作るための粘土に必要な情報を土マップや粘土レシピに整理し、適した土や工程を分析する。	・調べて分かったことを、土笛レシピに整理する。	◆息を入れる角度や穴のふさぎ方で音が変わるみたい。 ◆音階を調べる方法はあるのかな？	◆チキチキバンバンはよく知っている！全校のみんなにもなじみの曲だから、演奏したい！ ◆ほかの曲もできそう。
まとめ表現振り返り	【まとめ・表現】 ・土マップや粘土レシピをもとに、土笛を作るための粘土を作る 【振り返り・知の更新】 ◆調べた通りに粘土を作ってみたけど、土や水の量など分からないことも多くて自己流になっていることが分かった。専門家に聞いてみたいな。	【まとめ・表現】 ・土笛レシピをもとに土笛の成形・乾燥をする。 【振り返り・知の更新】 ・土笛はできたけど、音がきれいに鳴らない。音の出し方はどうするのかな？ ・みんなの音がバラバラ。これで、演奏ができるのかな？音をそろえることができるのかな？	【まとめ・表現】 ・身近な楽器を使って近い音をさがそう。 ・100%正確にするための方法にチューニングがある。 【振り返り・知の更新】 ・苦労したけど音がきれいに出来るようになった。今度は、演奏会をしてお家の人たちに聞かせたいな。	【まとめ・表現】 ・みんなで練習して二分の一成人式で発表する。 【振り返り・知の更新】 ・二分の一成人式での演奏で、自分たちが頑張ってきたことを紹介することができた。次は、全校のみんなや先生たちにも聞かせたいな。

【図工】「すなや土となかよし」(1年・既習)
・身近な自然物の形や色などを基に造形的な活動を思いつくことや、感覚や気持ちを生かしながら、どのように活動するかについて考える。(思・判・表)

【図工】「立ち上がれ粘土」
・対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して分かるとともに、手や体全体を十分に働かせ材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。(知・技)

・材料や用具を適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、組み合わせたり、切ったり、つないだり、形を変えたりするなどして、工夫して作ること(技)

【国語】「学級の問題について話し合おう」(話す・聞く)
・目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えあうために必要な事柄を選ぶこと。(思・話聞ア)
・相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、ア話の中心が明確になるよう話の構成を考えること。(思・話聞イ)

【国語】「命をつなぐレッドデータブックを作ろう」(読む)
・目的を意識して、中心となる語や分を見つけて要約すること(思・読ウ)

【国語】「学級新聞を作ろう」(書く)
・書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えること(思・書イ)

【音楽】「拍の流れにのってリズムを感じ取ろう」(3年・既習)
・音楽を形づくっている要素及びそれらに関わる音符、休符、記号や用語について理解すること。(共通事項・知)



「考えるための技法」の活用